

「(右側結腸憩室出血に対する血管造影と動脈塞栓術の有用性と安全性の検討)」  
へご協力をお願い

1. 研究の対象

2012年10月1日～2019年9月30日の期間に当院で右側結腸憩室出血に対し血管造影と動脈塞栓術(血管を詰める治療)の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

【研究目的】

右側結腸憩室出血における血管造影及び動脈塞栓術の治療成績を示し、臨床的有用性と安全性を明らかにすることを目的とします。

本研究結果から、右側結腸憩室出血に対する治療において、血管造影と動脈塞栓術の有効性の高い方や治療後の再出血や偶発症の生じやすい方を明らかにできる可能性があります。

【研究方法】

対象患者さんの過去の診療情報を用いて、情報を収集し、治療成績や偶発症の発現頻度や重症度を解析します。

収集したデータは個人情報を削除し、個人を特定できなくした後に、統計による解析を行います。

本研究の結果は、個人が特定されない形で国内外の医学関連学会での公表や医学雑誌への論文投稿を予定します。

【研究機関】

東京歯科大学市川総合病院 消化器内科

本研究は、公的資金以外に製薬会社などの企業から資金提供の授受はなく、患者さんの利益と研究グループや企業などと利益が相反する可能性は基本的にございませぬ(いわゆる利益相反はありません)。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧、脈拍、体温、病歴、既往歴、お受けになった治療、偶発症等の発生状況、採血検査の結果

画像検査：腹部造影CT、下部消化管内視鏡検査

【個人情報の取り扱いについて】

個人を特定できる情報は記載せずデータも匿名化して取り扱います。

本研究で得られたデータおよび試験の実施に関わる文書は5年間保存した後に、一切のデータを復元不可能な状態で消去し、またはシュレッダーなどで細かく裁断し機密データとして破棄します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究は当院の倫理審査委員会の審査で承認を得て、病院長の許可を受け行われています。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

研究責任者 消化器内科 中村健二

電話：047-322-0151